

おいせい



- 1面 29年度サポーター活動
- 2面 29年度施設見学会
- 3面 29年度施設見学会（島根）
いきいきポイント制度について
- 4面 入会写真 局長紹介ほか

編集・発行 広島市下水道局経営企画課
サポーター会員数/62人 平成30年7月31日現在

出前講座



平成29年度も下水道出前講座（50校中35校）の支援や下水道ふれあいフェアなどで下水道の啓発などをしました。

二十九年度下水道サポーターの活動

活動風景



ふれあいフェア



平成29年度におきましても、下水道サポーターの皆様の積極的な取り組み、活動により、広島市の下水道事業への市民の方々の理解と関心が着実に高まっていることにつきまして、深く感謝申し上げます。

このごあいさつを執筆中に豪雨災害により広島県をはじめとした西日本の各地に甚大な被害が発生しました。

このたびの豪雨災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された多くの皆様に心からお見舞い申し上げます。

広島市としては、現在被災された方々への支援及び被災した施設などの早期の復旧と復興に全力で取り組んでおります。

このため、今後の広報啓発活動に大きな影響が生ずる可能性があります。どうかご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、今後の下水道サポーターの皆様のご活躍と広島市下水道サポーター協議会のますますの発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

経営企画課

課長 吉岡 将樹

下水道サポーター 平成29年度活動報告

活動項目	活動内容	参加人数	実施日
小学校出前講座	出前講座実施50校中、35校の小学校で講座のサポート	延べ44名	5月～11月
下水道ふれあいフェア	子供向けの簡単な工作の補佐（会場：LECT 広島）	16名	9月11日（日）
施設見学会	千田地区雨水下水道幹線、中国電力（島根）原子力発電所	述べ35名	7月25日（火） 11月16日（水）
運営委員会	下水道フェア、施設見学会等の活動計画について	延べ52名	年4回
サポーター総会	29年度活動報告と30年度活動計画、役員改選について	25名	3月15日（木）

ごあいさつ

下水道局長紹介

早志 敏治

Toshiharu Hayashi



平成29年4月に下水道局長に就任しました！

【生年月日】昭和33年10月31日（年男です）
【血液型】O型
【出身地】広島県東広島市
【趣味】走ること（昔、陸上をやっていた）
【夢】退職後に妻と仲良く旅行すること
【心がけていること】自分に正直であること
【サポーターの皆様へ一言】感謝です！！

第26期下水道養成講座開講しました



2月7日の第1回目から、2月28日の第4回までの日程で、「第26期下水道サポーター養成講座」を行い、今期は8名の方が受講されました。

皆さんには毎回、熱心に受講していただき、質問や意見も活発に出していただきました。

これから共に頑張っていきましょう。

夏の暑い日も、雨の日も風の日も、出前講座などに協力いただき本当にありがとうございます。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。



歴史トリビア 下水道編

日本で人の排泄物を堆肥にするようになったのは、「ケガレ」を恐れない武士の時代である鎌倉時代から。

広島駅南西、橋本町から上横町界隈の京橋川沿いに残る江戸時代の雁木は、かつての武家屋敷の裏口の名残。

太田川上流から野菜などを城下町へ売りに来た百姓が武家屋敷のトイレにたまる排泄物を買って、自分の集落へと持ち帰って堆肥を作る、広島の汚水処理の始まりの名残です。



上横町の京橋川沿い
矢印の下が雁木です

平成29年度下水道サポーター施設見学会

平成29年7月25日、サポーター9人で千田地区雨水下水道幹線工事現場に行ってきました



気分は探検隊!



大人でも立って歩けます

「高齢者生き生き活動ポイント事業」の対象事業について

制度の目的

平成29年9月から、高齢者の社会参加を促進する目的で、70歳以上の高齢者の社会参加の活動実績に基づき、高齢者にポイントを付与し、一年間貯めたポイント数に応じて、その高齢者に奨励金を支給する「高齢者生き生き活動ポイント事業」を開始しました。この度、「下水道サポーター協議会」の活動事業に参加された場合も、下記のとおりこの事業の対象となりました。

- 1 付与ポイント数が2点の活動
 - ① 小学校出前講座での支援活動
 - ② 下水道ふれあいフェアでの支援活動
 - ③ これらの活動を計画・調整する運営委員会

2 付与ポイント数が1点の活動

- ① 施設見学会や勉強会（下水道に対する見識を広める活動）
- なお、サポーター協議会の総会については、定例的な会議であるせん。



平成29年度下水道サポーター施設見学会

平成29年11月16日、サポーター26人で島根原子力発電所に行ってきました

随学随想「島根原子力発電所見学など」

吉見 國雄

平成二十九年十一月十六日八時五十分発大型バス二十六名参加で島根原発の見学に行きました。まず下水道局経営企画課長からのご挨拶です。「本来原子力館において勉強会をしています。今日は往路のバスの中で行くと中国電力の説明があったとのこと。また今日は天候が良いので途中の車窓からの景色も楽しんで行きましょう」などでした。次に皆川会長、池庄司事務局員から本日の見学内容や島根原発の位置などの説明に加え、日常広島市内では観ることが出来ない紅葉が目美しく映え秋晴れの良い日に島根原発を見学させて頂くという意義のある一日となることと思います。との趣旨のご挨拶がありました。そして二時間余りで現地に到着しました。

★ここで追憶の一言・ずっと以前、芸備線から木次線に『ちどり』という急行列車があつて私は何度かお世話になりました。夜の十二時広島を発って松江には朝四時頃着いていました。仕事が始まるまで時間がありすぎて困ったが、陰陽を結ぶ唯一の交通機関でした★

さて、中国電力の方のバス内などでの勉強会ですが、

○日本をとりまくエネルギー事情

○日本の発電所でよく利用されているエネルギー源

○日本が原子力発電所を利用する理由

などを中心に幅広く説明があり、身近なことや関心の深いことが沢山ありましたがその中で特に記憶に残っていることは

○国内電力受給率7%（参考・食料自給率40%）

○エネルギーコストが増加しても中電は値上げしていない

などでした。その他使用した後の排水の処理方法の説明もありました。

到着後は島根原子力館で詳しい現状の説明を受け、車窓から2号機・3号機を見学しました。

★そこで見学の内容とは関係ない追憶を一言・私は四十年前に松江市に勤務していましたが、幼少期の子供達を連れだつて海水浴を楽しみ、家族連れで弁当を持参し釣りをして遊んだ・海水浴場・恵雲漁港も島根原発の北方向と脳裏に浮かんできました。

この海岸一帯は大きく変貌し日本経済の発展、近代文明所産を見ることとなっているようです★

これからの島根原発2・3号機の今後の稼働、石炭火力の島根三隅火力発電所の2・3号機の今後のありかたなどエネルギー政策については平成29年12月以降マスコミが報じています。（直近は2月17日付中国新聞）。

日本全体のエネルギー政策はどのようになるのでしょうか？

我々の子孫に安全で有益なものを残してやりたいと思っているのが我々世代の心情です。

国民一人一人が、より政治（選挙）経済の動向に関心を持つことがよいのではないかと……と思っています。

政令都市広島市の行政事業で、市民が日常生活において極めて重要としている生活基盤はこの下水道事業行政だと思っています。この行政に関して微力ながらサポートさせて頂いていますが、エネルギー政策についてはあまりにも大きな問題なので何も解りませんが、それなりに感ずることはありますが。

